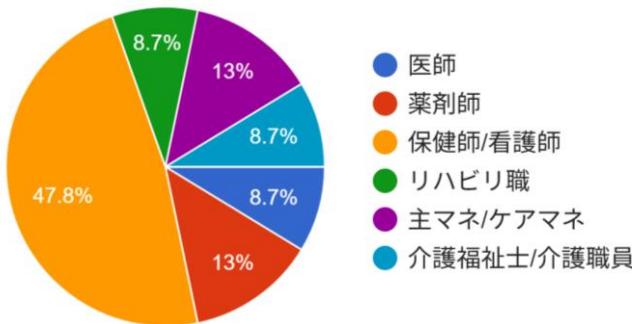


令和7年度 疾患別医療・介護連携事業「糖尿病」多職種連携研修
 令和8年1月21日(水)
 「アンケートから見えた現場の声と多職種でつなぐ支援のあり方」アンケート集計

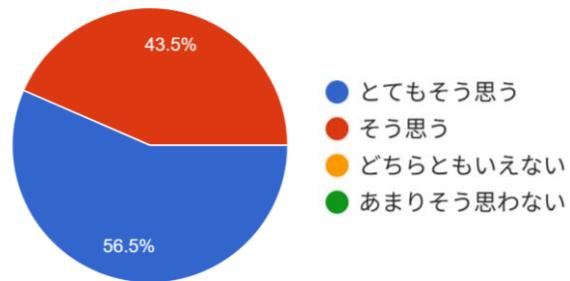
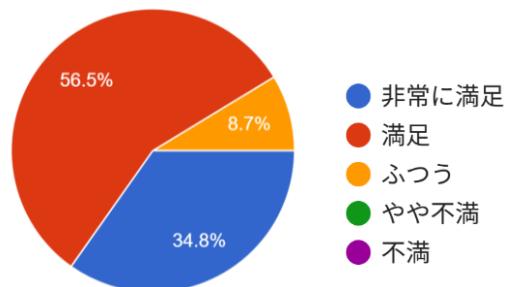
参加者数50名(内関係者10名)回答者23名 回答率57.5%

職種



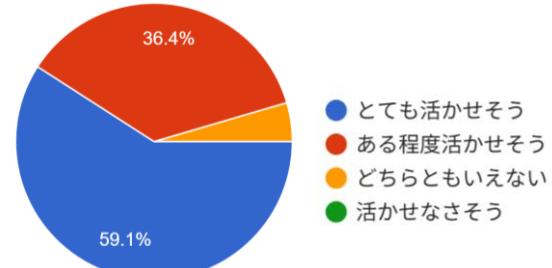
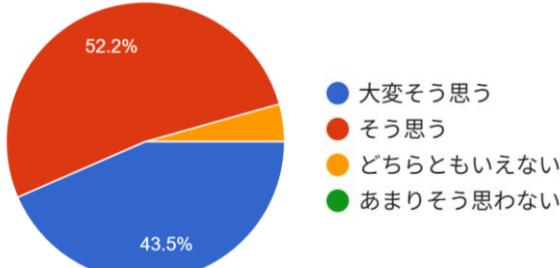
研修全体の満足度を教えてください

課題・困りごとについて多職種の視点・意見は理解しやすかったですか？



「こういう場面でどう対応すればよいか」というテーマについて、今後の業務に役立ちますか？

各職種のコメントは、実践に活かせそうでしたか？



今回の研修で特に印象に残った内容・学び感想

- 運動について、理学療法士さんからのコメントはとても分かりやすかった。
- 困りごと等は、積極的に多職種(専門職)へ相談をおこなっていきたいと思いました。
- 地域ケアプラザに医師相談窓口があることを初めて知りました。今後在宅で何か不明点がある際に活用させていただきたいと思います。
- アイクリーに関すること、医師の見解を知ることができ、学びとなりました。
- 答えにくいアンケートの質問に、各専門職の方々が具体的に答えられていたので驚きました。週1回の糖尿病薬のことや糖尿病の習慣を変える気持ちのない方へ、切らないで褒めて支援していくこと、栄養ステーションからの派遣のこと、青葉区医師会には管理栄養士がいる等、とても勉強になりました。1点、参加されていた方達とグループワークなどでコミュニケーションとれる場があつたらもっと勉強が出来たかなと思いました。
- 栄養士の関わり、運動習慣に関するPTさんの関わりについて。
- 薬局に管理栄養士がいる事を始めて知りました。ご利用者やご家族から栄養面について質問されることが多々あるため、ケアマネを通して栄養士へ繋げることができることを知りました。ありがとうございました。
- 現場では多職種で一堂に会することはなかなかないので、各職種の視点や専門的なことが伺えて良かったです。一点、自己管理が難しい方が糖尿病になる……というお話しはに、全く同意しますが。意識改革や行動変容についてもう少し言及が欲しかったかなと思いました。貴重な機会をありがとうございました。
- 現場でよくありがちなことへのご意見を伺えて参考になりました。
- ケアプラザに相談できる医師がいることを初めて知りました。今後活用できたらと思います。(同様1件)
- 糖尿病の方の問題点を再認識する機会になりました。
- 医師会在宅医療相談室とケアプラザの連携に期待したいです。栄養指導の相談先の紹介もあります。指導を関係者が必要と感じても、患者家族の理解不足や、経費にも抵抗があるようです。現場の声が聞けて、良かったです。
- 血糖コントロールは患者様やその家族の協力がないと難しいと思います。どこも同じ問題を抱えていると分かりました。医師の指示のもと看護を提供していますが、問題があれば医師へ現状をお伝えし一緒に改善策を考えていきたいと思います。
- 実際の介護の現場での問題点が議論出来て大変有意義な研修だったと思います。
- 事前アンケートでのお悩みが一覧で共有でき、課題の一部がみえてきた気がしました。各職種が主治医に紙で報告する一方で、十分なフィードバックが得られにくい場合もあり、コミュニケーションの取り方を工夫する余地があると考えます。また、糖尿病に限らずマルチプロブレムをかかえる患者さんに対する関わり方について多職種に広がっていくといいのかなと思いました。
- ざくばらんに、多職種の方々からご意見をいただけたこと、中でも管理栄養士さんのご意見がうかがえたことは良かったです。
- 理学療法士さんのお話、管理栄養士さんのお話など参考になる点が多く、自身の視野の広がりを感じました。自分は薬剤師ですので、業務の中で看護師さん、ドクターとの関わりはありますが他の専門職の方との関わりが薄いことを自覚しました。いろいろな専門職の方の視点でのコメントを今後も聞けたら嬉しいです。
- 本人の関心や家族が困るきっかけで動くようになること。
- 週に一回のインスリン注射のことを知り、投薬管理がとてもしやすくなると感じました。血糖測定に関しても毎食前に行うのは困難なので1日1回朝食前に絞るなど、もしくはリブレプロの普及を促して頂きたいと思いました。
- 管理栄養士の在宅指導について訪問も出来ることがわかり大変参考になりました。